



著者プロフィール

辻 美奈子（つじ・みなこ）

本名、米谷 美奈子（こめたに みなこ）

昭和40年3月9日(1965年) 東京生

昭和55年11月 句作を始める。馬酔木「火音抄」
に投句。

昭和58年8月 「沖」入会。

平成5年 第21回「沖」新人賞受賞、同人となる。

平成6年9月 句集『魚になる夢』刊行。

平成7年 第17回「沖」珊瑚賞受賞。

現在「沖」同人 俳人協会会員

〈句集『真咲』より転載〉〈2004年6月30日時点〉

『真 咲』（自選十五句）

辻 美奈子

桜満開おのが身に皮膚いちまい
春灯やをとこが困るとき眉
旧姓といふ空蟬に似たるもの
泣くときにつかふ腹筋豊の秋
天空に月ひとつわが受精卵
身ふたつのなんの淋しさ冬麗
数へ日の門ゆるき父母の家
馥郁と闇あり産みし年惜しむ
ゆつくりと縄締めりゆく花の雨
大樹いま水さかのぼる立夏かな
光年は涼しき距離ぞ生まれ来よ
竹皮を脱ぐやこどもはいつも旬
翼なけれど裸子を抱く双手
恋のころ来し花野にて子を抱けり
手の中に小さき手のある雪催